

総務省では国際標準化機関・団体 (ITU、W3C、IETF、IEEE等)における戦略的・継続的な国際標準化を進めるため、標準化機関・団体において標準化活動等を行う調査者を派遣します。

2019年度の調査者募集・選定は、総務省から業務を請け負った(一社)情報通信技術委員会(TTC)が実施しますので、応募については下記のTTCホームページをご覧ください。

<https://www.ttc.or.jp/topics/20190411/>

概要

国際標準化機関・団体 (ITU、W3C、IETF、IEEE等)における会合に出席し、右記の標準化の重点領域に含まれるテーマに関する標準化活動等及び活動報告を実施していただきます。

調査者の区分

下記区分で調査者を募集します。

- A) 我が国の主導権・プレゼンスを維持する観点から、国際標準化機関・団体やその下部研究委員会等において議長・副議長等の役職を務める者、又は、標準化を主導する役割を担う者 (採択件数6人・回程度)
- B) 継続的な標準化活動を維持・効率的な動向調査の観点から、国際標準化の経験が深く、豊富な人脈を有する者 (採択件数18人・回程度)
- C) 長期的な国際標準化人材の育成の視点から、国際標準化に関心を有する若者 (採択件数12人・回程度)

※採択件数は欧米等で開催される1週間程度の国際標準化会議に参加する場合の人・回であり、提案状況により変動があり得ます。

選定方法

請負事業者が設置する有識者委員会の審議を踏まえて調査者を選定します。

標準化の重点領域(情報通信審議会第2次答申(平成28年7月)等より)

(1) 統合ICT基盤領域

膨大な数の「モノ」を確実につなぐ共通基盤技術の標準化

- ① 物理ネットワーク層: 光ネットワーク、無線アクセス
- ② 共通プラットフォーム・マネジメント層: 共通プラットフォーム、ネットワークソフト化、セキュリティ・プライバシー、AI/機械学習

(2) サービス/ビジネス領域

共通基盤技術をベースに新ビジネス・サービスを創出するための標準化

- ① 固定系IoT: スマートホーム、スマートシティ
- ② 移動系IoT: コネクテッドカー、スマートファクトリー
- ③ 映像・コンテンツ系IoT: デジタルサイネージ、スマートテレビ

想定スケジュール

2019年4月12日(金)

～2019年5月8日(水)17:00

募集期間

2019年5月中

選定・契約

契約後～2020年3月

調査の実施

2020年3月

調査結果の報告

調査費用等の支給

旅費、会合参加費用等必要となる経費を規定に基づき支給します。